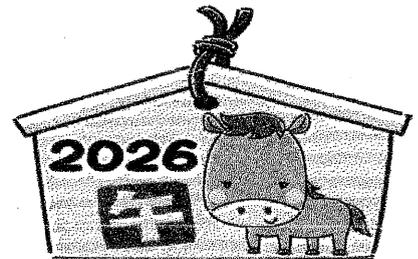


新年あけましておめでとうございます。

今年の干支は午(うま)。60年に一度めぐってくる
丙午(ひのえうま)です。

火のエネルギーが循環し、物事が活発に動き出し変化する、
新しい挑戦やチャンスのある年とも言われています。

「何事も午(うま)くいく」年の始まり。今年1年が皆さんに
とって、さらに良い年となるよう願っています。



地震災害。備えはできていますか？

年が明け、1月6日(火)の午前10時18分。島根県東部で発生したマグニチュード6.2、震度5強の地震が起こり、大阪でも震度3を観測し、強い揺れを感じる地震でした。

島根県、鳥取県では、初回発生から約20分の間に震度5前後の地震が複数回、夜間にも震度3の地震が数回起こっていました。この地震による津波はなかったものの、この数年、各地で地震による災害が相次いでいます。万が一に備えておきましょう。

大規模地震が発生した場合、最初の48時間は医療機関を含めて、あらゆるライフラインが停止する可能性があります。少なくとも各家庭で3日分の備蓄や救急用品の備えが命綱となります。



特に、乳幼児や高齢者、食物アレルギー、既往歴のある家族については、生活物品、医薬品に加えて、非常食の確保は必ず各家庭で準備しておきましょう。

(大阪市、各区役所等の備蓄や救済物品には、通常の非常食のみでアレルギー対応はありません)

昨年12月にも青森県でマグニチュード7.5、震度6の地震があったところ。31年前に起こった阪神淡路大震災では、大阪市内でも家具が倒れたり、交通機関が止まったりと様々な被害があり、当時の災害対策を大きく見直すきっかけとなった大規模地震でもありました。

今後懸念されている南海トラフ地震への警戒も含めて、備蓄品や避難経路、家族との連絡方法など再度確認をして、災害に備えると共に、地震が起こった際の行動についても、上のイラストを参考に確認しておきましょう。